

## 大山駅駅前広場及び鉄道付属街路第6号に係る デザイン検討調査委託募集要項別紙「提案事項」

### 1 本業務の背景と目的

大山駅周辺地区では、大山まちづくり総合計画等に基づき、市街地再開発事業等や土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新等により、商店街のにぎわいの促進や文化施設の立地といった駅周辺の特徴を活かした都市づくりを進めています。

大山駅周辺地区における都市づくりとしては、都市計画道路補助第26号線が、東京都の施行として、都市計画事業認可を受け、整備が進められているとともに、大山町クロスポイント周辺地区や大山町ピッコロ・スクエア周辺地区では市街地再開発事業が進められています。

このような中、令和3年12月に東京都の事業主体として、東武東上本線（大山駅付近）連続立体交差事業（以下「連立事業」という。）が事業認可を受けており、区では、連立事業と同日に、都市計画事業認可を受けた大山駅駅前広場整備事業（板橋区画街路第9号線）（以下「駅前広場」という。）において、交通結節機能の向上等を目的として、駅前広場の配置計画（案）を示しております。

本委託では、これらの配置計画（案）をベースとしつつ、同日に都市計画事業認可を受けた鉄道付属街路第6号（都市高速鉄道東武鉄道東上本線付属街路）（以下「鉄付6号」という。）※との一体的な空間活用を検討し、アフターコロナ以降の人々の行動変容や交通結節機能としての役割を踏まえつつ、駅前広場と鉄付6号を含む一体的な広場空間のスケッチパースを地域住民へのヒアリング等を行いながらデザイン案を作成することをめざしております。

また、連立事業によって高架化予定の大山駅と駅前広場、鉄付6号について、駅まち一体の必要性を整理し、その整備に向けた東京都や東武鉄道等の関係機関との合意形成を図るため、協議を実施していきます。

※）まちのにぎわいや都市計画道路補助第26号線からの歩行者の利便性向上のために創出される道路で、幅員4～17mを区が整備する予定

### 2 区が求める提案内容

#### （1）大山駅周辺地区の課題把握からデザイン検討及び関係機関協議までの進め方について

本委託においては、大山駅周辺地区の課題から、駅前広場及び鉄付6号を含む一体的な広場空間を検討、広場空間の必要性について、住民意見の意見をヒアリングしながらデザイン案の作成を行う業務として委託します。これらに必要な以下の業務について、関係性を明確にした上で、本委託の効果的な進め方を提案してください。

- ・住民意見のヒアリング
- ・関係機関協議
- ・大山駅周辺地区の駅まち一体的の整備に向けた手法・手順
- ・大山駅周辺地区のまちづくりを考慮した駅前広場及び鉄付6号の役割
- ・学識経験者等の知見反映
- ・区長の意向把握・庁内検討会での説明

**(2) 適切なスケジュールについて**

上記の進め方について、効率的かつ適切なスケジュールを提案してください。

**(3) 区民ニーズの把握について**

デザイン検討にあたり、区民ニーズを把握するための手法や手順について提案してください。

**(4) 関係機関協議について**

関係機関協議の進め方について、効率的かつ適切な方法やアイデアを提案してください。

**(5) 大山駅周辺地区の一体的な整備に向けた手法・手順**

駅まち一体の必要性を整理するにあたり、駅前広場、鉄付6号を含めた一体的な「空間」利用方法を提案するだけでなく、連立事業によって高架化されることを前提とした提案もしてください。

また、大山駅周辺地区のまちづくり事業を考慮し、駅前広場及び鉄付6号を利用することで大山駅周辺の回遊性やネットワークを意識して大山駅周辺の継続的な発展を考えた提案をしてください。そのほか、本委託業務を効果的・効率的に進めるうえでのアイデアがあれば、提案してください。

**3 関連資料の公開について**

下記資料は、板橋区ホームページで公開しています。

- ・東武東上線大山駅付近の連続立体交差事業等について
- ・大山駅の駅前広場整備事業について
- ・KOH-T-ビジョン
- ・大山駅周辺の交通ネットワーク構想
- ・大山駅の駅前広場構想
- ・大山まちづくり総合計画
- ・大山駅周辺地区まちづくりマスタープラン